

長崎県の土木の“いま”をお伝えします

DOVOC

通信
ながさき

AUGUST 2007

No. 1

 長崎県

特集
1

防災への取り組み

特集
2

土木部の予算

頑張れ!ルーキー
まちづくり人づくり
iroiroお知らせ隊



長崎県の土木の“いま”をお伝えします

DOVOC

通信
ながさき

AUGUST 2007

No. 1

 長崎県

特集
1

防災への取り組み

特集
2

土木部の予算

頑張れ!ルーキー
まちづくり人づくり
iroiroお知らせ隊



防災活動の支援

河川水位や雨量等の防災情報をリアルタイムに発信するなど、防災活動の支援に関する事業を行っています。



長崎県河川砂防情報システム(ナックス)

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/>

雨量情報

みなさんの町に降っている雨の情報を確認することができます。

土砂災害危険度情報

みなさんの町の土砂災害(土石流・がけ崩れ)の危険度を確認することができます。

一般気象情報

気象関係機関が発表している気象情報を確認することができます。

警報 注意報

注意報や、警報の発令状況を確認することができます。

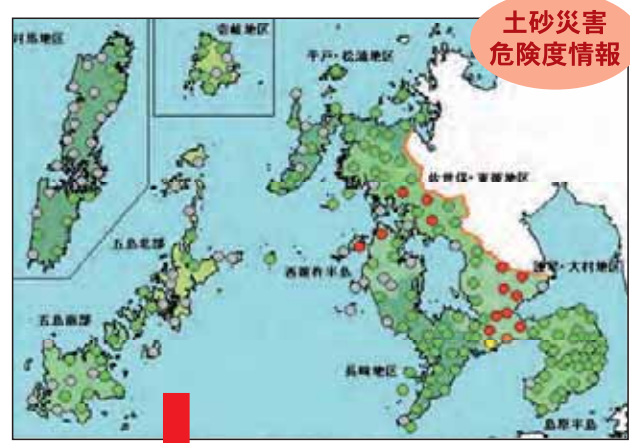
避難判断水位情報

避難を行うための目安となる水位情報を確認することができます。

河川水位情報

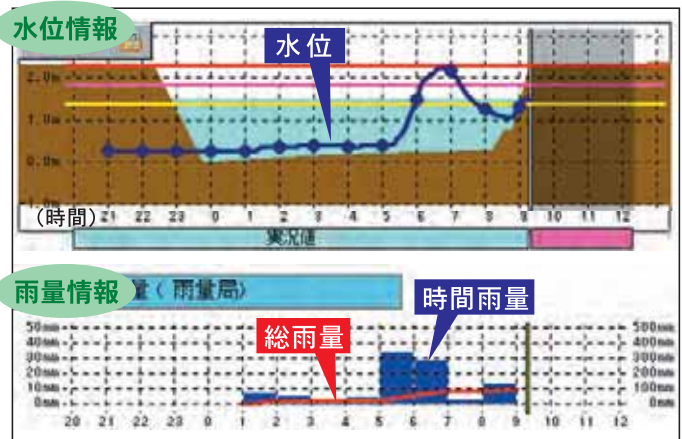
県が管理している河川で、10分毎の河川水位を確認することができます。

たとえば土砂災害危険度情報では下図のような画面で危険度を表示します。



各地域毎の拡大画面も表示できます!!

河川水位情報では、下図のように時間ごとの河川水位と雨量情報を同時に確認することができます。



- 1段階 今後の雨量情報に注意
- 2段階 土砂災害の前兆現象に注意
- 3段階 土砂災害の前兆現象及び市町からの防災情報に注意
- 4段階 土砂災害が発生する可能性が非常に高い

※土砂災害の前兆現象
がけから小石が落ちてくる。
がけから水がわき出てくる。
がけや斜面に割れ目ができる。等

携帯電話からも閲覧できます。

- iメニュー→メニューリスト→九州・沖縄メニュー→タウン情報/行政(福岡・佐賀・長崎)→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)
- EZメニュートップ→エリア→行政サービス→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)
- Yahoo!ケータイ→メニューリスト→地域メニュー→九州・沖縄 →行政→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)

その他の支援事業

ハザードマップ作成の支援 <http://www.1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>

「ハザードマップ」とは、浸水や土砂災害の可能性のある範囲や避難に関する情報を提供する地図です。現在、諫早市の1箇所のみですが、今後市町を支援しながら整備を進めていきます。なお、ハザードマップの作成は各市町が行っています。

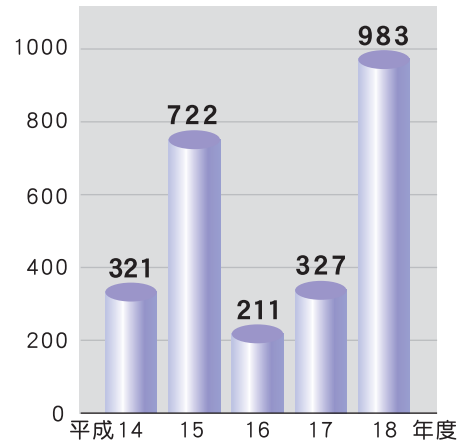
「水防計画」及び「土砂災害防止計画」の作成 <http://www.pref.nagasaki.jp/sb/preparation/001/manual/plan.html>

洪水・土砂災害等の災害に際し、被害の軽減を目的として、水防上必要な管理、連絡等の計画を策定しています。



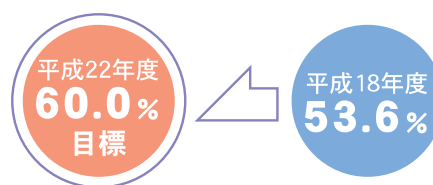
瀬川(対馬市) H18. 7.10

◎長崎県の災害箇所数

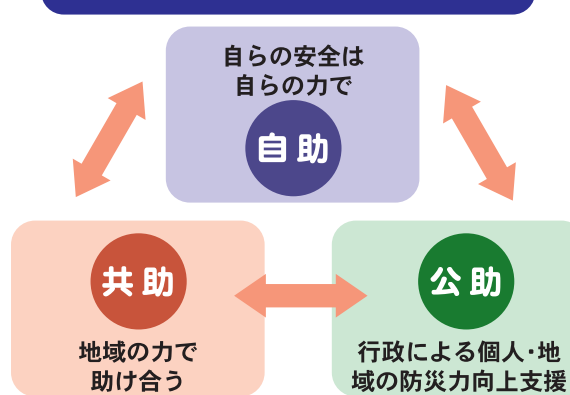


佐護川(対馬市) H18. 7.10

◎長崎県の河川整備率



防災活動のトライアングル



※河川課ホームページ「長崎の水辺」 <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~kasen/>

※砂防課ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/sabo/>

◎10年間ごとの50mm/h以上の年降雨発生回数

S51~S61
年間平均
209回

S62~H8
年間平均
234回

H9~H18
年間平均
293回

近年、気候変動の影響により、異常気象と呼ばれる現象が増大し、局所的な大規模災害が多発しています。

災害は無くならない!



日野川(佐世保市) H14. 9.16

県では、河川改修をはじめとする防災施設の整備を行っています。ですが、まだ十分でない状況です。早急な整備が望まれているところですが、その整備には莫大な費用と長い年月が必要です。

防災設備の整備はまだ不十分です。

現実には災害が発生した場合、被害を最小限にとどめるためには、自助・共助・公助が連携して機能することが不可欠とされています。

災害を最小限にするためには

近年、地球温暖化など気候変動の影響等により、集中豪雨、台風による被害が増加しています。しかし、防災事業を整備するには多大な時間と費用が必要で、まだ整備が十分でない状況です。こういった状況の中で、災害を最小限に食い止めるために、長崎県土木部(河川課・砂防課)が取り組んでいる業務をご紹介します。

特集
1

防災への取り組み

みなさん、はじめまして。僕は長崎県土木部の新しいキャラクターDOVOCです。ドボクンって呼んでください。



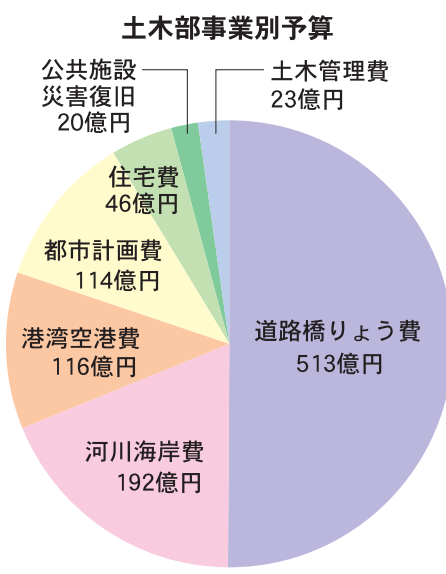
土木部の予算

長崎県土木部では、「ながさき夢・元気づくりプラン」を実現するために、長期総合計画(後期五か年計画)の三つの重点目標にもとづき、土木部関連のプロジェクトを通して、土木部基本方針を掲げています。今回は、そのプロジェクト実現にかかる土木部予算についてご紹介いたします。

土木部予算の使いみち

長崎県土木部の平成19年度の予算は1026億円。主に交通を便利にする道路や港をつくったり、安全・安心を確保するダムや川や海岸や住宅をつくったりと、県民のくらしの基礎を支えていく事業を行っています。

土木部の予算は、県全体の予算の14%を占めており、県民一人当たりでは、6万8千円のお金を使っています。



平成19年度の新たな取り組み

平成19年度からの新たな取り組みとして、「みんなのふるさとふれあい事業」では、川や海岸で自然にふれあい、遊び学べるよう散策路や魚道(魚のための道)をつくります。計画から地域や愛護団体の方にも参加いただき、皆さんと一緒に進めてまいります。

また、「土木施設維持補修計画策定事業」では、建設後年月が経つと、道路や橋が老朽化していきますので、点検等に基づき、計画的な補修や改修を行うための計画を策定してまいります。

これからは点検や補修・改修にもさらに力を入れて、大切な施設をできるだけ長く使えるようにするんだよ。



平成19年度の主な事業

※[]は平成19年度予算



一般県道 鷹島肥前線 [15億円]



一般国道206号 小迎バイパス [32億円]



厳原港(完成予想図) [8.6億円]



都市計画道路 浦上川線(完成予想図) [38億円]



伊木カダム [9.2億円]



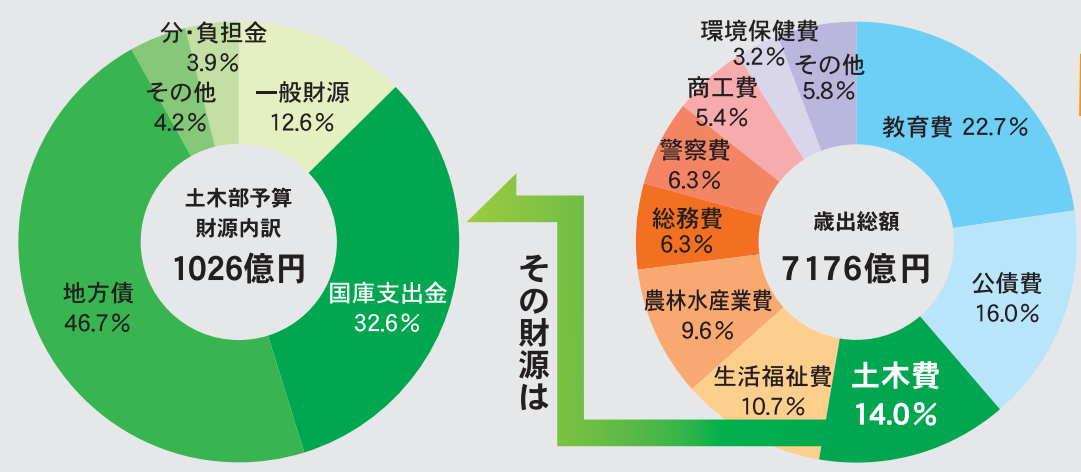
みんなのふるさとふれあい事業 [5億円]

ながさき夢・元気づくりプラン

重点目標	I 交流を拓げる魅力的なまちづくり	II 競争力のあるたくましい産業の育成	III 安心で快適な暮らしの実現
重点プロジェクト(土木部関連抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ●もてなしあふれる観光交流促進プロジェクトにぎわい・やすらぎのまち創造プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●明日を拓く産業育成プロジェクト ●農林水産業いきいき再生プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心の確保向上プロジェクト ●環境優先の社会づくり推進プロジェクト ●みんなが参加できる社会創造プロジェクト
土木部基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎交流を進める交通網の整備 ◎にぎわい・やすらぎのまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新分野進出など建設産業の再生支援 ◎地域基幹産業の振興・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎安全・安心な地域づくり ◎環境にやさしい社会づくり

土木の予算は県全体の14%。県民の皆さんの生活を支えるために大切に使わなきゃいけないね。

平成19年度 長崎県一般会計予算 (当初予算)



頑張れ!

rookie FIGHT!!

ルーキー.....①



「海の日」に表彰!

長崎市立野母小学校の海岸清掃活動

長崎県の海岸線は北海道に次いで全国2位の長さ。

でも、長いだけじゃ自慢にはなりません。

美しい景観を保ってこそ、価値があるのです。

そこで今回は、海岸愛護団体の活動をクローズアップ!

美しいふるさと自分たちの手でまもろう

長崎市内に12団体登録されている海岸愛護団体の中でも、特にその活動が高く評価されているのが長崎市立野母小学校の海岸清掃活動(通称ゴミフ)。「自分たちのふるさとを、自分たちの手でまもろう」を合言葉に長年清掃活動を続け、活動の中心である年3回のゴミフは野母小学校の「伝統行事」として受け継がれています。今年の「海の日」には、「海をきれいにする活動」に貢献したとして国土交通省九州地方整備局長表彰を受けることになっており、ますます今後の活動に熱がはいりそうです。

取材にうかがったのは6月下旬に行われた「春ゴミフ」。心配された雨もあがり、小学校近くの荒切海岸あらいきりに元気いっぱいの表情で集まった全校生徒79人と先生たち。小学校の活動に合わせて、地域の人たち約20人も手伝いに駆けつけました。

大量に流れ着いた海藻の上にビニールやプラスチック製品を中心とした燃やせないゴミがたくさん広がる中、高学年が慣れた手つきでリードしながら、中学年、低学年も小さな手でゴミを拾い集めます。またこの日は、長崎土木事務所から借りた熊手が活躍。みんなのがんばりで、約1時間ほどたつと、海岸は見違えるようにきれいになりました。



「子どもたちの力はすごい。誇りある伝統行事を、これからも大切にしていきたい。」と校長先生(右)と教頭先生(左)



「海岸の清掃活動を通して、子どもたちの心に環境への関心が高まってきています。また、活動をする上では行政からの支援が心強い。今日も熊手を5本ほど借り、ジュースやゴミ袋などをいただき、助かりました。」と田中一壽先生。

注目される愛護団体の取り組み

「美しい国づくり」が唱えられる中で、景観の維持は重要なテーマの一つであり、それには地域住民の清掃活動への参加の仕組みづくりが今後の大きな課題といえます。愛護団体の活動は、たとえそれぞれの取り組みのエリアは狭かったとしても、その数が増えることで大きな成果をもたらします。長崎県では、県内の河川・海岸・道路・港湾・漁港・都市公園・砂防公園などの清掃美化活動に取り組む団体を「愛護団体・アダプト団体」として登録し、その登録団体の活動に対し支援を行っています。

お問い合わせ◎長崎県土木部関係地方機関

または長崎県土木部河川課管理班 ☎095-822-0397



にぎわいやすらぎの まちづくり



昭和30年代の長崎市東山手付近 写真提供◎堺屋修一

皆さんがお住まいのまちは、どのようなところですか？地域ならではの暮らしがあつて、素敵な人達が住んでいて…。それでも近頃、少し心配や不便を感じることはないでしょうか？例えば、空き家が増えて、防犯や防災に不安があるとか、昔に比べてまちの賑わいが減って寂しくなったとか、ご近所との交流が少なくなったとか…。



川の工事の前に地域の皆さんと一緒に、棲んでいる魚等を移動させています

少子高齢・人口減少社会になつて、私達のまちの課題はどんどん複雑化・多様化しています。これまでの行政主体のやり方では、十分な解決につながらないことも考えられます。

まちの中で見つかるいろいろな課題は、実際にまちの中で暮らしたり働いたりしている人達が一緒に協力して取り組まなければ、なかなか解決できません。もちろん、公共施設の整備・改良など行政が担うまちの環境整備も大切ですが、住民の皆さんと行政が連携して取り組むことが必要ではないでしょうか。



県の景観まちづくり室が十八年度から実施している「にぎわい・やすらぎのまちづくり推進事業」では県内で十箇所のモデル地区を選定して、住民の皆さんと一緒に「まちづくり協働プラン」の策定を行っています。このプランは、地域の宝物や課題を踏まえて、地区の将来像を描き、そのために必要な取り組みを盛り込んだもので、これまでに四市町(松浦市・対馬市・雲仙市・東彼杵町)で策定済みです。

本年度は、三ヶ所で取り組みを行う予定で、現在二市町(五島市・川棚町)が決定しています。これからも「住民と行政の協働のまちづくり」を応援していきます。



「まちづくり協働プラン」策定のため地域の皆さんとまちあるき・ワークショップを行っています

県職員(機械設備職)の募集

監理課 ☎095-894-3011

- 募集職種／機械設備職1名
 - 業務内容／給排水衛生、ガス、空調、浄化槽設備等に関する設計・監理業務
 - 受験資格／昭和53年4月2日～昭和61年4月1日生まれの方
 - 受付／7月2日(月)～8月21日(火)
 - 第1次試験／9月16日(日)
- ※申込書は県の主な機関で配布。ホームページでも入手できます。
<http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/saiyo/>

「まちづくり景観資産」を登録しませんか

景観まちづくり室 ☎095-894-3151
 お住まいの市町のまちづくり担当課

- 魅力的なまちなみや建造物などを「まちづくり景観資産」として登録することができます。また、登録された建造物等の保全・修景工事を所有者が行う際に、特に高い景観上の価値があると認められると、県と市町が費用の一部(3分の2、最高400万円以内)を補助します。
- 申請先／お住まいの市町のまちづくり担当課 ※申請書は市町のまちづくり担当課またはホームページから入手できます。
 - 締切／申請は随時受け付けて

おりますが、登録の可否は、年2回程度開催する長崎県美しいまちづくり審議会で決定します。

●<http://www.pref.nagasaki.jp/beautiful/>

安全・安心住まいづくり支援事業

住宅課まちづくり班 ☎095-894-3104

県では、市町と連携して、耐震診断・耐震改修のための助成事業を実施しています。

- 耐震診断／診断費4万5千円のうち自己負担額は1万5千円です。
- 耐震改修／工事費の2分の1(上限60万円)を助成します。
- 対象／昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- 申請方法／助成事業を実施しているお住まいの市町への申請が必要です。
- <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~sumai/>

高齢者向け優良賃貸住宅オーナー募集

住宅課 ☎095-894-3104

高齢者向け優良賃貸住宅を建設するオーナーを募集します。

- 受付期間／7月30日(月)～9月28日(金)
- 受付窓口／建設予定地の市町住宅担当課
- 募集戸数／県全体で70戸程度

県営住宅空き住戸への入居者募集

- ①長崎県住宅供給公社 ☎095-823-3050
- ②同佐世保事務所 ☎0956-22-9612
- ③同諫早事務所 ☎0957-26-9053
- ④同大村事務所 ☎0957-52-6825

【募集住宅一覧表配布】

- とき／8月31日(金)～※午前9時～午後5時
- ところ／各地区の事務所
 ※長崎地区は県庁、長崎土木事務所等でも配布。

【受付】

- とき／9月7日(金)～10日(月)
 ※午前10時～午後4時
- ところ／各地区の事務所
- 【公開抽選(申込多数の場合)】
- とき／①長崎 ②佐世保9月20日(木) ③諫早9月19日(水)
- ④大村9月21日(金)
- <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~sumai/>

8月は「道路ふれあい月間」です

道路維持課 ☎095-894-3142

8月は「道路ふれあい月間」です。期間中は道路の正しい利用の啓発及び道路愛護思想の普及のため、様々な行事が行われます。



「DOVOC通信ながさき」創刊にあたって

長崎県の発展のために全力を尽くします!

着任してまだ間もないのですが、長崎県は歴史もあり、文化もあり、また自然も豊かで、たいへん素晴らしいところだと思います。九州での勤務は大分や福岡、熊本でも経験しましたが、とても働きやすく、いい仕事ことができました。

これからは、長崎県の土木部長として、『透明で公正な事業の執行』『地域の安全・安心、活力、景観、環境のさらなる改善』を目標に掲げ、長崎県がさらに発展するように、全力でとりくんでいきたいと

思っています。また、広聴・広報に積極的に取り組み、地域との対話を通じて、土木行政に対するご理解を得られるように努力していきたいと思っています。

本情報紙では、県民の方へ土木部での取り組みをわかりやすくお伝えしながら、県民の方からもご意見をいただき、事業の推進に役立てていきたいと思っています。どうぞ、ご愛読いただき、土木事業へのご理解を深めていただければ幸いです。



土木部長 桑原徹郎

プロフィール◎神奈川県出身。1984年東北大学大学院工学研究科土木工学専攻を修了し、建設省に入省。沖縄開発庁、関東地方建設局、九州地方整備局などでの勤務を経て、前職は首都高速道路計画・環境部渋滞対策グループ総括マネージャー。2007年7月9日長崎県土木部長。

「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお持ちしています。

宛先◎ 〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp

防災活動の支援

河川水位や雨量等の防災情報をリアルタイムに発信するなど、防災活動の支援に関する事業を行っています。

長崎県河川砂防情報システム(ナックス)

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/>



雨量情報

みなさんの町に降っている雨の情報を確認することができます。

土砂災害危険度情報

みなさんの町の土砂災害(土石流・がけ崩れ)の危険度を確認することができます。

一般気象情報

気象関係機関が発表している気象情報を確認することができます。

警報 注意報

注意報や、警報の発令状況を確認することができます。

避難判断水位情報

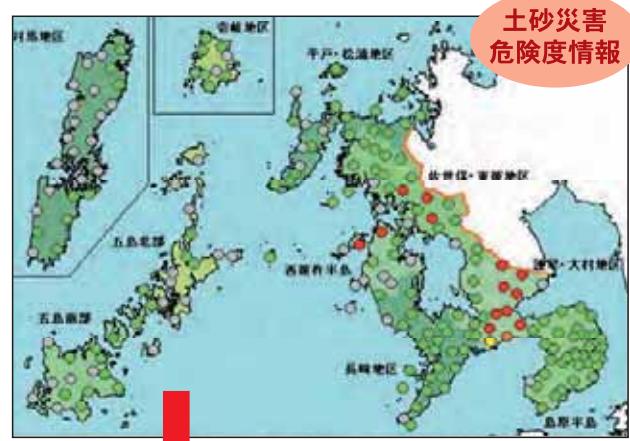
避難を行うための目安となる水位情報を確認することができます。

河川水位情報

県が管理している河川で、10分毎の河川水位を確認することができます。

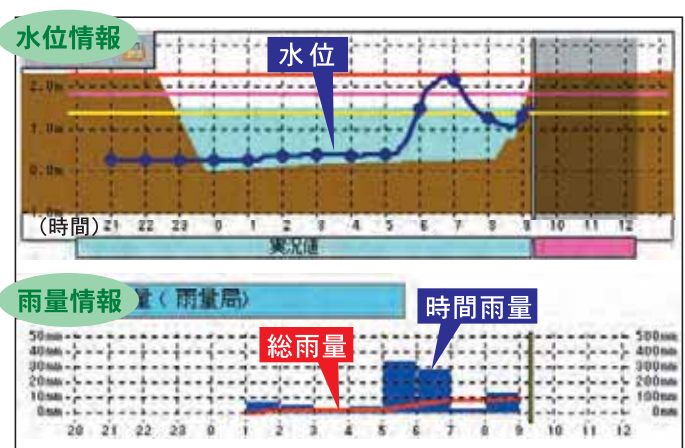
たとえば土砂災害危険度情報では下図のような画面で危険度を表示します。

河川水位情報では、下図のように時間ごとの河川水位と雨量情報を同時に確認することができます。



土砂災害危険度情報

各地域毎の拡大画面も表示できます!!



水位情報

雨量情報 (雨量局)

時間雨量

※土砂災害の前兆現象
がけから小石が落ちてくる。
がけから水がわき出てくる。
がけや斜面に割れ目ができる。等

- 1段階 今後の雨量情報に注意
- 2段階 土砂災害の前兆現象に注意
- 3段階 土砂災害の前兆現象及び市町からの防災情報に注意
- 4段階 土砂災害が発生する可能性が非常に高い

携帯電話からも閲覧できます。

- iメニュー→メニューリスト→九州・沖縄メニュー→タウン情報/行政(福岡・佐賀・長崎)→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)
- EZメニュートップ→エリア→行政サービス→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)
- Yahoo!ケータイ→メニューリスト→地域メニュー→九州・沖縄 →行政→モバイル長崎県→ナックス(河川砂防情報)

その他の支援事業

ハザードマップ作成の支援 <http://www.1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>

「ハザードマップ」とは、浸水や土砂災害の可能性のある範囲や避難に関する情報を提供する地図です。現在、諫早市の1箇所のみですが、今後市町を支援しながら整備を進めていきます。なお、ハザードマップの作成は各市町が行っています。

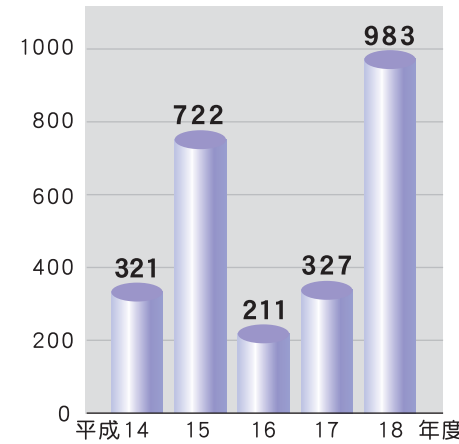
「水防計画」及び「土砂災害防止計画」の作成 <http://www.pref.nagasaki.jp/sb/preparation/001/manual/plan.html>

洪水・土砂災害等の災害に際し、被害の軽減を目的として、水防上必要な管理、連絡等の計画を策定しています。



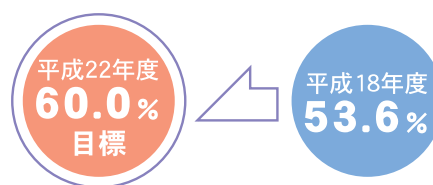
瀬川(対馬市) H18. 7.10

◎長崎県の災害箇所数

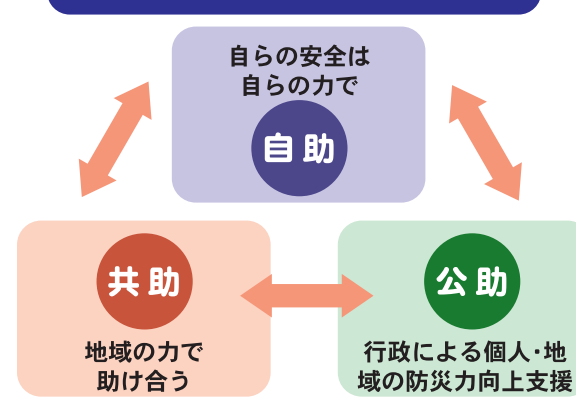


佐護川(対馬市) H18. 7.10

◎長崎県の河川整備率



防災活動のトライアングル



※河川課ホームページ「長崎の水辺」 <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~kasen/>

※砂防課ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/sabo/>

◎10年間ごとの50mm/h以上の年降雨発生回数

S51~S61
209回
年間平均

S62~H8
234回
年間平均

H9~H18
293回
年間平均

近年、気候変動の影響により、異常気象と呼ばれる現象が増大し、局所的な大規模災害が多発しています。

災害は無くならない!



日野川(佐世保市) H14. 9.16

県では、河川改修をはじめとする防災施設の整備を行っています。ですが、まだ十分でない状況です。早急な整備が望まれているところですが、その整備には莫大な費用と長い年月が必要です。

防災設備の整備はまだ不十分です。

災害を最小限にするためには

現実に災害が発生した場合、被害を最小限にとどめるためには、自助・共助・公助が連携して機能することが不可欠とされています。

近年、地球温暖化など気候変動の影響等により、集中豪雨、台風による被害が増加しています。しかし、防災事業を整備するには多大な時間と費用が必要で、まだ整備が十分でない状況です。こういった状況の中で、災害を最小限に食い止めるために、長崎県土木部(河川課・砂防課)が取り組んでいる業務をご紹介します。

特集1

防災への取り組み

みなさん、はじめまして。僕は長崎県土木部の新しいキャラクターDOVOCです。ドボクンって呼んでください。



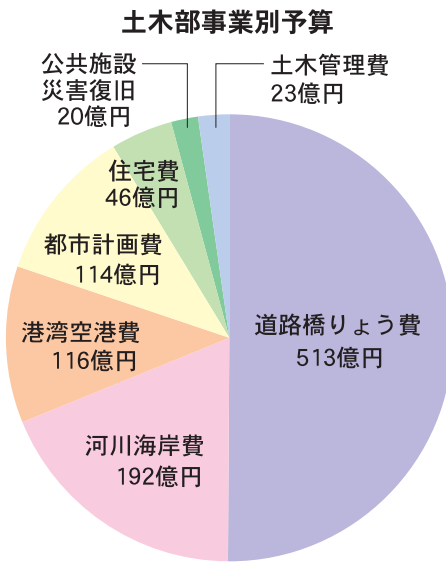
土木部の予算

長崎県土木部では、「ながさき夢・元気づくりプラン」を実現するために、長期総合計画(後期五か年計画)の三つの重点目標にもとづき、土木部関連のプロジェクトを通して、土木部基本方針を掲げています。今回は、そのプロジェクト実現にかかる土木部予算についてご紹介いたします。

土木部予算の使いみち

長崎県土木部の平成19年度の予算は1026億円。主に交通を便利にする道路や港をつくったり、安全・安心を確保するダムや川や海岸や住宅をつくったりと、県民のくらしの基礎を支えていく事業を行っています。

土木部の予算は、県全体の予算の14%を占めており、県民一人当たりでは、6万8千円のお金を使っています。



平成19年度の新たな取り組み

平成19年度からの新たな取り組みとして、「みんなのふるさとふれあい事業」では、川や海岸で自然にふれあい、遊び学べるよう散策路や魚道(魚のための道)をつくります。計画から地域や愛護団体の方にも参加いただき、皆さんと一緒に進めてまいります。

また、「土木施設維持補修計画策定事業」では、建設後年月が経つと、道路や橋が老朽化していきますので、点検等に基づき、計画的な補修や改修を行うための計画を策定してまいります。

これからは点検や補修・改修にもさらに力を入れて、大切な施設をできるだけ長く使えるようにするんだよ。



平成19年度の主な事業

※[]は平成19年度予算



一般県道 鷹島肥前線 [15億円]



一般国道206号 小迎バイパス [32億円]



厳原港(完成予想図) [8.6億円]



都市計画道路 浦上川線(完成予想図) [38億円]



伊木カダム [9.2億円]



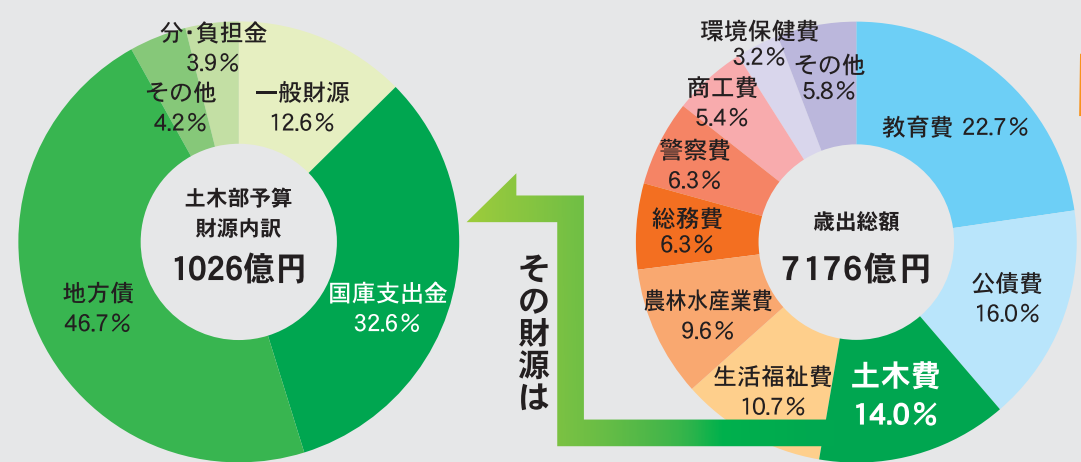
みんなのふるさとふれあい事業 [5億円]

ながさき夢・元気づくりプラン

重点目標	I 交流を拓げる魅力的なまちづくり	II 競争力のあるたくましい産業の育成	III 安心で快適な暮らしの実現
重点プロジェクト(土木部関連抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ●もてなしあふれる観光交流促進プロジェクトにぎわい・やすらぎのまち創造プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●明日を拓く産業育成プロジェクト ●農林水産業いきいき再生プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心の確保向上プロジェクト ●環境優先の社会づくり推進プロジェクト ●みんなが参加できる社会創造プロジェクト
土木部基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎交流を進める交通網の整備 ◎にぎわい・やすらぎのまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新分野進出など建設産業の再生支援 ◎地域基幹産業の振興・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎安全・安心な地域づくり ◎環境にやさしい社会づくり

土木の予算は県全体の14%。県民の皆さんの生活を支えるために大切に使わなきゃいけないね。

平成19年度 長崎県一般会計予算 (当初予算)



頑張れ!

rookie FIGHT!!

ルーキー



「海の日」に表彰!

長崎市立野母小学校の海岸清掃活動

長崎県の海岸線は北海道に次いで全国2位の長さ。

でも、長いだけじゃ自慢にはなりません。

美しい景観を保ってこそ、価値があるのです。

そこで今回は、海岸愛護団体の活動をクローズアップ!

美しいふるさと自分たちの手でまもろう

長崎市内に12団体登録されている海岸愛護団体の中でも、特にその活動が高く評価されているのが長崎市立野母小学校の海岸清掃活動(通称ゴミフ)。「自分たちのふるさとを、自分たちの手でまもろう」を合言葉に長年清掃活動を続け、活動の中心である年3回のゴミフは野母小学校の「伝統行事」として受け継がれています。今年の「海の日」には、「海をきれいにする活動」に貢献したとして国土交通省九州地方整備局長表彰を受けることになっており、ますます今後の活動に熱がはいりそうです。

取材にうかがったのは6月下旬に行われた「春ゴミフ」。心配された雨もあがり、小学校近くの荒切海岸あらいきりに元気いっぱいの表情で集まった全校生徒79人と先生たち。小学校の活動に合わせて、地域の人たち約20人も手伝いに駆けつけました。

大量に流れ着いた海藻の上にビニールやプラスチック製品を中心とした燃やせないゴミがたくさん広がる中、高学年が慣れた手つきでリードしながら、中学年、低学年も小さな手でゴミを拾い集めます。またこの日は、長崎土木事務所から借りた熊手が活躍。みんなのがんばりで、約1時間ほどたつと、海岸は見違えるようにきれいになりました。



「子どもたちの力はすごい。誇りある伝統行事を、これからも大切にしていきたい。」と校長先生(右)と教頭先生(左)



「海岸の清掃活動を通して、子どもたちの心に環境への関心が高まってきています。また、活動をする上では行政からの支援が心強い。今日も熊手を5本ほど借り、ジュースやゴミ袋などをいただき、助かりました。」と田中一壽先生。

注目される愛護団体の取り組み

「美しい国づくり」が唱えられる中で、景観の維持は重要なテーマの一つであり、それには地域住民の清掃活動への参加の仕組みづくりが今後の大きな課題といえます。愛護団体の活動は、たとえそれぞれの取り組みのエリアは狭かったとしても、その数が増えることで大きな成果をもたらします。長崎県では、県内の河川・海岸・道路・港湾・漁港・都市公園・砂防公園などの清掃美化活動に取り組む団体を「愛護団体・アダプト団体」として登録し、その登録団体の活動に対し支援を行っています。

お問い合わせ◎長崎県土木部関係地方機関

または長崎県土木部河川課管理班 ☎095-822-0397



にぎわいやすらぎの まちづくり



昭和30年代の長崎市東山手付近 写真提供◎堺屋修一

皆さんがお住まいのまちは、どのようなところですか？地域ならではの暮らしがあつて、素敵な人達が住んでいて…。それでも近頃、少し心配や不便を感じることはないでしょうか？例えば、空き家が増えて、防犯や防災に不安があるとか、昔に比べてまちの賑わいが減って寂しくなったとか、ご近所との交流が少なくなったとか…。



川の工事の前に地域の皆さんと一緒に、棲んでいる魚等を移動させています

少子高齢・人口減少社会になつて、私達のまちの課題はどんどん複雑化・多様化しています。これまでの行政主体のやり方では、十分な解決につながらないことも考えられます。

まちの中で見つかるいろいろな課題は、実際にまちの中で暮らしたり働いたりしている人達が一緒に協力して取り組まなければ、なかなか解決できません。もちろん、公共施設の整備・改良など行政が担うまちの環境整備も大切ですが、住民の皆さんと行政が連携して取り組むことが必要ではないでしょうか。



県の景観まちづくり室が十八年度から実施している「にぎわい・やすらぎのまちづくり推進事業」では県内で十箇所のモデル地区を選定して、住民の皆さんと一緒に「まちづくり協働プラン」の策定を行っています。このプランは、地域の宝物や課題を踏まえて、地区の将来像を描き、そのために必要な取り組みを盛り込んだもので、これまでに四市町(松浦市・対馬市・雲仙市・東彼杵町)で策定済みです。

本年度は、三ヶ所で取り組みを行う予定で、現在二市町(五島市・川棚町)が決定しています。これからも「住民と行政の協働のまちづくり」を応援していきます。



「まちづくり協働プラン」策定のため地域の皆さんとまちあるき・ワークショップを行っています

県職員(機械設備職)の募集

監理課 ☎095-894-3011

- 募集職種／機械設備職1名
 - 業務内容／給排水衛生、ガス、空調、浄化槽設備等に関する設計・監理業務
 - 受験資格／昭和53年4月2日～昭和61年4月1日生まれの方
 - 受付／7月2日(月)～8月21日(火)
 - 第1次試験／9月16日(日)
- ※申込書は県の主な機関で配布。ホームページでも入手できます。
<http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/saiyo/>

「まちづくり景観資産」を登録しませんか

景観まちづくり室 ☎095-894-3151
 お住まいの市町のまちづくり担当課

- 魅力的なまちなみや建造物などを「まちづくり景観資産」として登録することができます。また、登録された建造物等の保全・修景工事を所有者が行う際に、特に高い景観上の価値があると認められると、県と市町が費用の一部(3分の2、最高400万円以内)を補助します。
- 申請先／お住まいの市町のまちづくり担当課 ※申請書は市町のまちづくり担当課またはホームページから入手できます。
 - 締切／申請は随時受け付けて

おりますが、登録の可否は、年2回程度開催する長崎県美しいまちづくり審議会で決定します。

●<http://www.pref.nagasaki.jp/beautiful/>

安全・安心住まいづくり支援事業

住宅課まちづくり班 ☎095-894-3104

県では、市町と連携して、耐震診断・耐震改修のための助成事業を実施しています。

- 耐震診断／診断費4万5千円のうち自己負担額は1万5千円です。
- 耐震改修／工事費の2分の1(上限60万円)を助成します。
- 対象／昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- 申請方法／助成事業を実施しているお住まいの市町への申請が必要です。
- <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~sumai/>

高齢者向け優良賃貸住宅オーナー募集

住宅課 ☎095-894-3104

高齢者向け優良賃貸住宅を建設するオーナーを募集します。

- 受付期間／7月30日(月)～9月28日(金)
- 受付窓口／建設予定地の市町住宅担当課
- 募集戸数／県全体で70戸程度

県営住宅空き住戸への入居者募集

- ①長崎県住宅供給公社 ☎095-823-3050
- ②同佐世保事務所 ☎0956-22-9612
- ③同諫早事務所 ☎0957-26-9053
- ④同大村事務所 ☎0957-52-6825

【募集住宅一覧表配布】

- とき／8月31日(金)～※午前9時～午後5時
- ところ／各地区の事務所
 ※長崎地区は県庁、長崎土木事務所等でも配布。

【受付】

- とき／9月7日(金)～10日(月)
 ※午前10時～午後4時
- ところ／各地区の事務所
- 【公開抽選(申込多数の場合)】
- とき／①長崎 ②佐世保9月20日(木) ③諫早9月19日(水)
- ④大村9月21日(金)
- <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~sumai/>

8月は「道路ふれあい月間」です

道路維持課 ☎095-894-3142

8月は「道路ふれあい月間」です。期間中は道路の正しい利用の啓発及び道路愛護思想の普及のため、様々な行事が行われます。



「DOVOC通信ながさき」創刊にあたって

長崎県の発展のために全力を尽くします!

着任してまだ間もないのですが、長崎県は歴史もあり、文化もあり、また自然も豊かで、たいへん素晴らしいところだと思います。九州での勤務は大分や福岡、熊本でも経験しましたが、とても働きやすく、いい仕事ことができました。

これからは、長崎県の土木部長として、『透明で公正な事業の執行』『地域の安全・安心、活力、景観、環境のさらなる改善』を目標に掲げ、長崎県がさらに発展するように、全力でとりくんでいきたいと

思っています。また、広聴・広報に積極的に取り組み、地域との対話を通じて、土木行政に対するご理解を得られるように努力していきたいと思っています。

本情報紙では、県民の方へ土木部での取り組みをわかりやすくお伝えしながら、県民の方からもご意見をいただき、事業の推進に役立てていきたいと思っています。どうぞ、ご愛読いただき、土木事業へのご理解を深めていただければ幸いです。



土木部長 桑原徹郎

プロフィール◎神奈川県出身。1984年東北大学大学院工学研究科土木工学専攻を修了し、建設省に入省。沖縄開発庁、関東地方建設局、九州地方整備局などでの勤務を経て、前職は首都高速道路計画・環境部渋滞対策グループ総括マネージャー。2007年7月9日長崎県土木部長。

「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお持ちしています。

宛先◎ 〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp